



東海道図屏風 江戸時代 豊橋市美術館蔵

# 再始動 記念展

— 東海道の描きかた —

2024年

11月3日[日] ↓ 12月15日[日]

— 休館日 — 月曜日、ただし11月4日(大名行列)は開館し、翌5日[火]休館  
— 会場 — 豊橋市二川宿本陣資料館 企画展示室  
— 主催 — 豊橋市二川宿本陣資料館  
— 観覧料 — 通常料金のみでご覧いただけます。

豊橋市二川宿本陣資料館では、開館以来東海道を中心に交通史関係の資料を収集してきました。長期休館を伴う設備改修工事が終了した令和6年秋、これまでの資料収集の成果をもとに、当館及び豊橋市美術館が所蔵する街道関係資料を紹介する展覧会を開催いたします。

東海道をはじめとして、街道を描いた資料には、屏風・卷子・浮世絵など美術的要素が強いものがある一方、地図・名所図・会道中記など実用面での要請に基づいて作られたものもあります。500キロメートルに及ぶ東海道の全体を描くためには限られた平面のなか

**ギャラリー  
トーク**  
11月16日[土]、11月27日[水]  
14:00→15:00  
講師 | 当館学芸員  
場所 | 当館企画展示室

に合うようにさまざまな形態が用いられました。また、沿道に点在する名所旧跡は、和歌の名所などとして文学で扱われ、あるいは浮世絵の名所絵として描かれることで東海道の旅のイメージを豊かなものとなりました。本展では、東海道やそこを旅する人々が描かれた収蔵資料から、道の描かれかたの諸相を紹介します。



参宮上京道中一覧双六 歌川広重 安政4年(1857) 当館蔵



東海道西海道図巻 江戸時代 豊橋市美術館蔵



東海道名所一覽 葛飾北斎 文政元年(1818) 当館蔵



東海道五拾三次之内 庄野白雨 歌川広重 天保4年(1837)頃 当館蔵



東海道五拾三次之内 二川狼ヶ馬場 歌川広重 天保4年(1837)頃 当館蔵

**記念講演会**

洛中洛外図から読み解く京都の歴史地理  
— 祇園祭・山鉾町を中心に —  
11月30日[土] 14:00→15:30  
講師 | 佐藤弘隆さん(愛知大学准教授)  
場所 | 当館講義室 | 料金 | 無料(要入館料)  
申込み | 11月6日[水] 10:00から電話で  
二川宿本陣資料館(申込み順50人)

洛中洛外図屏風 江戸時代中期 当館蔵

